



中核だより



病院理念 地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

お知らせ

2022 インターンシップのご案内 詳しくはP5へ

会計年度任用職員(看護助手)募集について 詳しくはP6へ

主な内容

看護師募集中
詳しくはホームページをご覧ください



発行年月日 令和4年2月1日

中核病院のコロナ医療	2 ページ
診療科紹介(1)	3 ページ
診療科紹介(2)	4 ページ
診療科紹介(3)、2022 インターンシップのご案内	5 ページ
診療科紹介(4)、会計年度任用職員(看護助手)募集について	6 ページ
CT入れ替えについて	7 ページ
外来診療時間及び担当医師のご案内	8 ページ

発行・編集／みやぎ県南中核病院 広報委員会発行



ホームページ <https://www.southmiyagi-mc.jp/>
宮城県柴田郡大河原町字西38-1 TEL 0224-51-5500(代表)



中核病院のコロナ医療

統括副院長 いせふく しゅうじ
伊勢福 修 司

2021年4月に統括副院長を拝命しました。前任の荒井啓晶先生の仕事を引き継ぎ、新型コロナ感染症対策の調整係をしています。当院の新型コロナ感染症への対応についてご説明申し上げます。当院の主な取り組みは2つです。県の対策本部に協力して感染者の入院治療を行うことと、外来と一般病棟に感染を発生させないようにすることです。

2020年冬以来、宮城県からの要請に応じて感染患者用の病床を確保、増床してきました。新型コロナ感染症の主な病巣は肺なので、呼吸器内科医師を中心になって診療してきました。この原稿を書いている2021年11月下旬の時点では、県南の新規感染者発生は無く入院患者もいませんが、第6波もあり得るので、1つの病棟を改装して病床を確保しています。この病棟には診断が確定した患者だけでなく診断が確定していない疑い患者も受け入れるように、疑似患者用の病床も用意しています。

当院のホームページなどで公表しましたが、一般病棟の患者さんに感染が発生したことがあります。ご高齢の方がご親戚とお祝い事の会食をされた後にコロナ以外の疾患で一般病棟に入院されました。入院後にご親戚の方の新型コロナ感染症検査陽性が判明したため、入院した方の検査をしたところ陽性、加えて同じ病室の向かいのベッドの患者さんも陽性と判明しました。幸いなことに陽性と判定された2人の患者さんは重症化しませんでしたし、それ以上感染は拡大しませんでした。しかし、2週間にわたって病棟閉鎖を余儀なくされました。(個人情報保護のため一部内容変えています。)

院内感染が発生すると、入院患者さんはコロナ感染症以外の疾病でもともと体力が落ちていますので、一般の方以上に命の危険が増します。加えて感染が発生した病棟の入退院を停止せざるを得なくなりますので、コロナ感染症以外の急患・重症患者さんを受け入れるための病床が切

迫することになります。2021年8月に発生した石巻赤十字病院の院内感染事例では、複数の病棟に感染が波及し、数週間にわたって救急搬入の受け入れ、緊急手術の実施が困難になりました。院内感染を100%防ぐことはできませんが、少しでも発生を減らす取り組みを継続しています。

入院患者さんの感染を防ぐために、職員も万全を期していますが、患者さんおよびご家族の皆様にも様々なお願いをしています。入院患者さんへの面会を原則禁止しております。入院される方全員に新型コロナ感染症検査を受けていただいている。ご家族の手術・検査の間も病棟内ではなく、院外での待機をお願いしています。ご不便・お手間をおかけしていることに対してお詫びするとともに、ご協力に対して心から感謝申し上げます。

当院の本来の病床数は310床です。しかし、コロナ禍以前から看護職員の不足のため病床を減らして診療せざるを得ない状態が続いています。病床を減らしてもなお時間外労働は多いため、燃えつきで離職、誰かが離職すると残っている職員の時間外労働が更に増加、という悪循環に陥ることを危惧しています。看護職員の採用・教育に力を注いでいますが、高度医療を支える人材の確保・育成は一朝一夕にはできません。現在コロナ感染症用の病床を確保していますので、コロナ禍以前よりも病床は不足気味です。このため当院に入院・治療して、病状が落ち着いた患者さんには他の病院へ転院して治療を継続していくだくようにお願いしています。

この文章が皆様の目に触れる2022年2月には、ワクチン接種が更に進み、新しい薬がどんどん導入されて新型コロナ感染症もインフルエンザ程度の疾患として対処できるようになることを期待しています。「コロナ、大変だったよね」と言えるようになることを祈っています。

コロナ禍が落ち着くまで、私たち病院職員は実行可能なすべての対応をする所存です。

診療科紹介(1)



救急科

の
むら
りょう
すけ
副救命救急センター長 野 村 亮 介

救急科とはどんな診療科ですか？

平成20年に厚生労働省によって標榜診療科（表示や告示をしてもよいと認められた診療科の名前）の見直しがおこなわれて一般的になつた診療科です。病院によってその役割は様々で、総合病院でも救急科がない病院もあり、皆様だけでなく、同じ医療関係者でも馴染みがないかもしれません。

みやぎ県南中核病院は平成26年に県内6施設目の救命救急センター（病床数が少ない小規模の「地域」救命救急センターです）に指定されました。仙南地域では公立刈田総合病院との機能分化・連携、急性期医療の集約化の流れの中、近年では救急車受け入れ台数は増え続け4,000台に達する見込みです。平成28年に開始した宮城県ドクターヘリに協力しており、基地病院を除くと県内で2番目に多くの患者さんを受け入れています。

救急科ではこうした救急車で搬送される患者さんを中心に病気・怪我の種類や重症度を問わず、必要な初期治療と検査、診断をおこない、適切な診療科に適切なタイミングで診療を引き継ぐ仕事をおこないます。宮城県内、特に仙台市内の専門医療施設と連携して皆様にとって最善の治療をおこなえるようにドクターヘリや救急車での搬送を手配することもあります。重症であったり、複数の病態を抱えている場合は救急科が入院を担当いたします。具体的には外傷（大けが）、敗血症（細菌やウイルス感染で臓器障害を起こしている）、熱傷（やけど）、中毒（薬物の多量摂取、化学物質暴露含む）や生物毒（ヘビやフグ、キノコ、草、虫など）、心停止後症候群（心肺停止状態から回復した）、環境障害（熱中症や低体温症）、多臓器不全などの集中治療をおこないます。診療以外にも救急医療の知識と技能を生かし、地域の救急医療制度の整備に関わったり、メディカルコントロール（救急隊員の活動について助言や指導を行う）体制や災害医療に指導的立場を發揮します。

時間外、土日祝日に受診される皆様にお願い

当院では救急車だけでなく、直接受診を希望されて来院される方の診療もおこなっています。ただし、救急外来では原因究明や診断を確定することよりは危急性の高い病気がないかの判断をおこない、当日は応急的な治療のみを行います。もちろん必要時は当院の診療科の外来に再診していただきますが、原則として翌日の日中にお近くの診療所を受診してもらうようご紹介申し上げております。

新型コロナウイルス感染症の流行により、感染者との濃厚接触の可能性がある患者さんや発熱のある患者さんには「新型コロナウイルスに感染している可能性がある」という前提で対応させていただいております。そのため、電話で症状を聞いて処方薬を出したり（非接触的診療と言います）、対面診察が必要な場合であっても、事前に患者様の鼻の奥に綿棒を挿入して新型コロナウイルスの遺伝子検出検査（およそ30分で結果がわかります）をしてからになります。その影響で他の症状でお困りの患者様にもコロナ禍以前と比べるとより一層お待ちいただく時間が増えていきます。平日夜間は、当院敷地内の仙南夜間初期急患センターでも診療が可能ですので、ご利用ください（詳細は大河原町のホームページをご覧ください）。

また前号もありましたように、紹介状がなく、初診で来院された場合には選定療養費（自己負担5,500円）を初診料に加えて徴収させていただく（なお、診察の結果種々の検査が必要だった場合には免除されます）ことが義務化しております。「すぐに病院に行ったほうがよいか」や「救急車を呼ぶべきかどうか」を悩んだりいためられた時は救急安心センター事業（#7119）にお電話してくださいと、電話口で医師や看護師等の専門家が救急相談に応じるサービスもございますので、是非ご利用ください。

診療科紹介(2)



消化器内科

主任部長 木村 修
き むら おさむ

肝臓疾患について

みやぎ県南中核病院で肝疾患を担当している消化器内科の木村です。肝臓は「沈黙の臓器」と言われており、症状が出現しにくいですが、いったん症状が出現すると非常に重篤になります。重要なものを「肝心・肝腎」と言いますが、「じん」の字には「心」「腎」のどちらかが用いられますが、「かん」は「肝」の字が当てられます。昔から肝臓はなくてはならないものであることが知られていた良い例だと思われます。

近年の肝疾患に対する医学の進歩は目覚ましく、パラダイムシフトが生じていると言われています。実際に以前は不治の病と考えられていたC型肝炎は2~3ヶ月間飲み薬の服用でほぼ100%の方のウイルスの排除が可能となりました。2020年のノーベル生理学・医学賞はC型肝炎の発見・研究に関わった3名が受賞されております。受賞されたのは欧米の研究者ですが、その研究には多くの日本人の研究者も関わっていることも忘れてはならない事実だと思われます。私が2015年にみやぎ県南中核病院に赴任してからこれまで300人以上の方のC型肝炎の治療（ウイルスの排除）を行ってきました。治療が必要な人は減ってきましたが、現在も新規に治療を必要な方がいます。C型肝炎ウイルスの感染は、慢性肝炎から肝硬変に至り最終的に肝細胞癌が出現するためウイルスの排除は重要です。さらに最近はC型肝炎ウイルスの感染が心臓・腎臓・肺・血液・免疫疾患など多くの臓器や組織に影響を及ぼす可能性があること示唆されておりウイルスの排除は多くの恩恵をもたらすと考えらえています。

B型肝炎も抗ウイルス薬の登場によりウイルスの制御が可能となりましたが、本当の意味でのウイルスの排除はまだできません。しかし、現在多くの新規の治療の開発が進んでおり、遠くない将来にウイルスの排除が可能となる時代が来ると思われます。

我々医療従事者は自分がB型肝炎・C型肝炎に感染しているかどうかという検査を受けますが、一般的の皆様は自分が感染しているかどうかということは意外に知らない方多くいます。「病院にかかっているから」「健診を受けてるから」大丈夫と思っている方もいますが、明確に“HBs抗原陰性・HCV抗体陰性”という結果を確認していない方は一度検査を受けることが重要です。正しく理解することは、自分の生命だけでなく大切な方の命を守ることにつながります。かかりつけ医で検査を受けることも可能ですが、県内の登録医療機関では無料で検査を受けることが可能です。当院でも無料で肝炎ウイルス検査を受けられます（当院の場合は予約制ですが、即日結果を説明いたします）。

当院ではウイルス性肝炎の他、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、アルコール性肝炎、自己免疫性肝炎、肝硬変、肝細胞癌など様々な肝疾患の治療も行っています。コロナ禍の影響もあり、stay homeで体重増加や飲酒量が増えることで非アルコール性脂肪肝炎やアルコール性肝炎の悪化が危惧されています。肝臓は「沈黙の臓器」であり、症状が出現しにくいからこそ重篤になる前の治療が重要です。ご本人が自分の肝臓の状態を理解していただけるように説明を心がけています。心配なことがある場合はぜひご相談ください。



診療科紹介(3)



糖尿病・代謝内科

部長 こんどうけい一
藤敬一

糖尿病・代謝内科の概要

当科は糖尿病と脂質異常症（高コレステロール血症など）を診ている科です。糖尿病も脂質異常症も重症化しなければ症状がないので放置してしまいかがちですが、放っておくと血管が長持ちしなくなつて様々な臓器で合併症が進んでいきます。

かかりつけ医より以下のような方々を紹介いただき、当科で治療を行い、ある程度改善したところで逆紹介しております。重症の糖尿病、初発の糖尿病、コントロールが悪化してきた糖尿病、精査や治療内容の見直しが必要な糖尿病、妊娠糖尿病、原因がはっきりしない或いは治療困難な低血糖症、通常の治療では改善しない脂質異常症などをこれまで紹介いただいております。外来で治療を行うか、入院するかは重症度や必要性を考慮して判断しております。糖尿病は一生つき合つて行く病気です。コントロールがいい時期もあれば悪い時期もあります。悪くなった原因をはっきりさせて良好なコントロールを維持できるようにし、合併症の予防につながるよう努めております。合併症の発症や悪化を一生予防し続けられるのが理想です。合併症には網膜症、腎症、神経障害、脳梗塞、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症、足壊疽、歯周病など様々あり、これらが進行していないか、発症のリスクが高くなつていかなどを調べます。糖尿病治療の基本は食事療法、運動療法です。これらの見直しを行い、必要に応じて薬物治療の開始、調整を行います。糖尿病治療薬は内服薬、注射薬とともに種類が増えています。どの組み合わせで使用するかなどは個々人の病態を診ながら判断しております。糖尿病治療の組み合わせは数学的には1,000種類以上ありますが、実際は約100種類くらいの組み合わせを使って治療しています。特殊な治療、検査としてCSII（持続インスリン皮下注、インスリンポンプ）やCGM（持続血糖測定）なども行なっています。CGMでは24時間×14日間の血糖変動が連続で把握できるのでより精密な治療が可能となります。

今後も地域の医療機関と連携を深めながら仙南地区全体の血糖・脂質コントロール改善、合併症の低減に向けて頑張っていきます。

2022 インターンシップのご案内

当院は救命救急センターを有し、救急患者、重症患者の受け入れを365日行っています。仙南地域は宮城県の中でも就業看護師数が少ない地域です。

私たちと一緒に仙南地域で働きませんか？やりがいのある看護の経験を重ねましょう！

目的 就職を考えている学生さんに当院の看護を実際に体験してもらうことで、職場の雰囲気や看護、仕事について知っていただく。

対象者 2023年・2024年卒業見込みの大学・専門学校に在学中の看護学を専攻している方

開催日 1日コース：①2022年2月10日(木) ②3月8日(火) ③3月24日(木) 時間 9:30～15:30
半日コース：①2022年2月26日(土) ②3月12日(土) 時間 9:00～12:00

集合場所：みやぎ県南中核病院

実施内容 オリエンテーション、看護部長挨拶、病院概要・教育体制等説明、院内見学、希望部署での看護体験、先輩看護師との意見交換会

病院にお電話、または病院ホームページよりお申し込みください。

申込先：みやぎ県南中核病院 総務課（月～金 8:30～17:00）TEL.(0224)51-5500

診療科紹介(4)



麻酔科

中央診療部長 安田 忠伸
やす だい ただ のぶ

当院麻酔科の紹介

当院麻酔科は常勤専門医3名、嘱託医1名、後期研修医1名の5名体制です。予定手術はもとより、緊急手術に対しても24時間365日対応しております。入院の必要がない外来手術から、数日で退院できる傷の小さい手術、さらには長時間を要する大手術まで年間2,500件以上の手術が当院で行われています。我々麻酔科医は、意識を消失させる「全身麻酔」、腰骨から注射して下半身の感覚を消失させる「腰椎麻酔」を担当します。その数は年間2,000件余りです。また、傷の痛みを和らげるのも麻酔科医の役目です。手術部位によっては、傷の痛みを伝える神経を麻酔する「硬膜外鎮痛」や「末梢神経ブロック」が有効で、当院でも多くの患者さんに行っています。

手術未経験の方にとって麻酔科はあまりなじみのない診療科ではないでしょうか。内科・外科などの診療科とは違い外来診療を行っていないのが理由の一つです。また入院から退院まで毎日顔を合わせる主治医の先生とは違い、手術の時だけ現れる便利屋さん程度に思う患者さんもいるかもしれません。実際、麻酔科医が手術を受ける患者さんと顔を合わせるのは、手術前日の麻醉前診察、手術当日の手術室で、手術翌日の術後診察、のわずかな時間です。しかし、麻酔科医はその短い時間に患者さんの状態をしっかりと把握し、手術によるストレスや痛みを防ぎ、刻一刻と変化する患者さんの状態に合わせた麻醉管理を行っています。

私事で恐縮ですが、10年前から茶道（裏千家）の稽古を続けています。茶道の心得として「和敬清寂（わけいせいじやく）」という言葉があります。「和」とは互いに仲良くすること、「敬」は互いに相手を敬う心、「清」は清らかな心、「寂」は何事にも乱されない不動の心、を意味します。これは麻酔科医としての私の心得であります。手術室では手術が無事に終わるように執刀医・麻酔科医・看護師・技師など多くの専門家が協力し合います（和）。そして、それぞれの専門分野の技能を信頼し自分の仕事を全うします（敬）。手術室は非常に清潔な空間であり、その中で誰もが患者さんの治癒を清らかな気持ちで祈っています（清）。時として手術中に予期せぬ事態が起こります。その際、麻酔科医は誰よりも冷静沈着に事態の収拾を図ります（寂）。ストレスの多い仕事ではありますが、一碗の抹茶が癒しになっています。

最後に麻酔科からお願いしたいことがあります。喫煙は全身麻酔による手術の経過で呼吸器合併症（咳・痰が増える、体内的酸素濃度が下がるなど）や傷の治りが遅れるなどの危険性が高くなります。タバコを吸われる方が手術を受ける場合、最低3週間禁煙して下さい。あるいはこれを機会に喫煙をやめることをお勧めします。

今後も安全かつ快適な麻酔を心掛けます。よろしくお願ひいたします。

会計年度任用職員(看護助手)募集について

近年、高齢の患者さんが多くなり、療養上のサポートを必要とする患者さんが増えているため、看護師とともに療養の世話を担っていただける看護助手さんを募集しています。

病院勤務の経験がなくても、新しいことに挑戦してみたい方、地元で仕事をしてみたい方は是非お問い合わせください。院内研修も充実しています。見学や面談にも応じます。

仕事の内容

- 療養上のお世話：食事、着替え、入浴、排泄の介助
- その他：病院内の整理整頓、補助業務



お問い合わせ先：みやぎ県南中核病院 総務課（月～金 8:30～17:00）TEL.(0224)51-5500

— CT入れ替えについて —

CTとは、Computed Tomographyの頭文字をとった略称で、日本語ではコンピュータ断層装置と言います。CT装置は、内部にX線を照射するX線管とX線を受け取る検出器が向かい合う形で備わっており、X線管から照射されたX線は身体を通過した後に検出器に入ります。このX線管と検出器が身体の回りを1回転することで身体の輪切りの画像（断層画像）を得ることができます。

CT検査では身体内部の病変をミリ単位で検出することが可能で、脳梗塞や脳出血など血流や血管の異常、がんなどの腫瘍、炎症、骨折等といった身体の中の様々な疾患の診断に使用されています。また、心臓や肝臓、腸などの各臓器と血管を含めた周囲組織との位置関係を明瞭に描出する事ができることから、手術などの治療方針を検討する場合にも有用な情報を提供しています。

当院では、診断用CT装置として2013年2月から64列MDCT装置2台（救命救急センター1台を含む）と、放射線治療計画用CT装置として2013年3月から16列MDCT装置1台を導入いたしました。

しかし、2020年3月以降に宮城県内でも新型コロナウイルス感染者が急増したことによる診断用CT検査件数の増加への対応と、放射線治療計画用CT装置の老朽化による精度の担保が問題となっていました。そのため診断用CT装置として2021年4月に80列MDCT装置（Canon Aquilion Prime SP）1台を新規導入しました。また、放射線治療計画16列CT装置も2021年10月に80列CT装置（Canon Aquilion Exceed LB）に更新しました。

* MDCT（Multi Detector-row CT 高分解能多検出器 CT）：複数の検出器を備え、短時間で広範囲を高精度に検査することが可能。

一般的には検出器数が多いほど高性能。○○列は検出器の数を表している。（例）64列MDCT：検出器が64個並んでいるCT。

従来の当院のCT装置（16列・64列MDCT装置）は、X線管が身体の周りを1回転するごとに0.625mmの厚みの画像を16列では16枚、64列では64枚撮影できました。

一方、今回新規導入・更新したCT装置は、1回転するごとに0.5mmの厚みの画像を80枚または160枚撮影可能です。また、画像処理技術の進歩に伴い、得られた画像データからより高画質な画像の作成が可能です。これにより、従来と比較してより短い時間で広範囲の撮影が可能となり、また高精細の画像を取得する事ができるようになりました。

さらに、今回新規導入・更新したCT装置の大きな特徴のひとつは、AI（Artificial Intelligence：人工知能）技術が搭載されていることです。画像データとして不要な成分（ノイズ成分）と有用な成分（シグナル成分）の識別方法を「学習」したAI技術により従来の装置と比べて被ばく線量を低減しながら高画質の画像を得ることが可能です。

このような特徴を活かすことにより、個々のCT検査時間の効率化によりCT検査の予約期間（予約から検査実施までの時間）の短縮を計るとともに、これまで以上に高精細な画像を用いることで診断精度の向上や、高精細画像データを用いた詳細な3次元画像を作成することで手術などを含めた高度な医療を行う上での有益な支援を行うことが可能であり、日常診療にこれまで以上に貢献することができます。

文責：放射線技師長 高橋 聖一

元画像

AI(人工知能)活用例

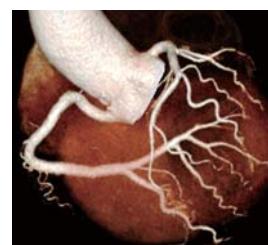
AIによる処理後の画像



CT装置がノイズ成分（不要な成分）とシグナル成分（必要な成分）の識別方法を学習し、ノイズを劇的に低減（元画像のザラザラした画質が改善している）。



肺血管3D画像



心臓血管3D画像

《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2022年2月予定

診療科		受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	甲状腺	9:30~11:30 (10:00~) 13:00~15:00 (13:30~)第1・3金曜	×	×	×	×	非常勤医師(新患) 非常勤医師(再来)
	腎臓・膠原病	8:00~11:00 (9:00~) 13:00~15:00 (13:30~)	佐藤 仁	坂田英恵	佐藤 仁	佐藤 仁	坂田英恵
	腎臓病	13:00~15:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	佐藤 仁	佐藤 仁	×
	血液	13:00~15:00 (13:30~)	×	×	非常勤医師	×	×
糖尿病・代謝内科		8:00~11:00 (9:00~) 13:00~15:00 (13:30~)	坂田/近藤	相澤/非常勤医師	近藤敬一	相澤貴志	近藤敬一
循環器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	田中/井汲	非常勤医師	富岡智子	塙入裕樹	伊藤愛剛
	再来	塙入裕樹	田中/井汲	伊藤愛剛	田中/井汲	富岡智子	
		10:30~15:30	×	高橋亮吉	×	×	
		13:00~15:30 (13:00~)	伊藤知宏	×	×	×	武内広樹
消化器内科	新患		阿曾沼 祥	大方英樹	土井耕太郎	平本圭一郎	金澤義丈
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	佐藤/土井	平本圭一郎	金澤義丈	阿曾沼 祥	木村/大方
	肝臓(紹介のみ)		×	×	木村修(再来)	木村修(新患)	×
腫瘍内科	新患	13:30~16:00 (14:00~)	杉山克郎	杉山克郎	杉山克郎	杉山克郎	
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	杉山/非常勤医師	杉山/非常勤医師	×	杉山/非常勤医師	
緩和ケア内科(紹介のみ)		13:00~14:45 (13:30~)	佐藤 俊	×	×	×	佐藤 俊
呼吸器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	千葉茂樹	東條 裕	佐藤 慶	佐藤輝幸	綿貫善太
	再来		綿貫善太	綿貫善太	東條 裕	東條 裕	佐藤輝幸
脳神経内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	加藤量広	黒田 宙	大嶋龍司	非常勤医師	船山由希乃
	再来		大嶋龍司	船山由希乃	加藤量広	×	黒田 宙
外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	望月保志	佐藤英昭	後藤/富田	上野達也	富田侑希
	再来		菊池 寛	上野達也	望月保志	宮崎/武藤	後藤慎二
呼吸器外科		8:00~11:00 (9:00~) 13:00~16:00 (13:30~)	×	桜田 晃	×	×	×
血管外科(紹介のみ)		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	後藤 均	×
乳腺外科		13:00~16:00 (13:30~)	鈴木幸正	鈴木幸正	鈴木幸正	鈴木幸正	鈴木幸正
心臓血管外科(紹介のみ)[第1・3・5水曜]		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	非常勤医師	×	×
甲状腺外科(紹介のみ)[第2・4金曜]		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	×	後藤慎二
ストマ外来(紹介のみ)[新患 第1木曜/再来 第3水曜]		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	内藤広郎 (第3水曜)	外科医師 (第1木曜)	×
脳神経外科		8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	×	荒井啓晶 (井上 敬)	大友 智	井上 敬
整形外科	8:00~11:00 (9:00~)		内海峻輔	福地英輝	曾木靖仁	内海峻輔	福地英輝
	13:30~15:00 (14:00~)		金澤憲治	千葉知規	伊勢福修司	曾木靖仁	
形成外科		8:00~11:00 (8:30~)	澤村/渡部	澤村/渡部	澤村/渡部	×	澤村/渡部
褥瘡外来(紹介のみ)[第2木曜]		13:30~15:00 (14:00~)	×	×	澤村/渡部	澤村/渡部	
皮膚科	新患	8:00~11:00 (8:30~)	武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介
	再来		武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介	武藤雄介
リハビリテーション科		14:00~16:00 (14:00~)	×	×	×	瀬田 拓	
小児科	一般(午前)	8:00~11:00 (8:30~)	大原/二瓶/阪本	大原/林/阪本/二瓶	大原/林/阪本/二瓶	大原/二瓶/阪本	
	一般(午後)	15:00~16:00 (15:00~)		阪本/二瓶/林	大原/林/二瓶	阪本/二瓶/林	大原/林/阪本
	心臓	13:00~15:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
	アレルギー(予約のみ)	8:00~11:00 (8:30~) 13:00~16:00 (13:30~)	林 千代 (再来)	×	×	林 千代(再来)	
産婦人科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	酒井啓治	×	松澤由記子	圓谷 隆	齋藤淳一
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	齋藤淳一	圓谷 隆	齋藤淳一	齋藤淳一	圓谷 隆
泌尿器科		8:00~11:00 (9:00~)	和泉/舟嶋	和泉/榎木	榎木/舟嶋	榎木/舟嶋	和泉/榎木
眼科	8:00~11:00 (9:00~)		非常勤医師	二宮高洋	二宮高洋	二宮高洋	
	13:00~16:00 (13:30~)		×		×	非常勤医師	
耳鼻咽喉科	8:00~11:00 (9:00~)		新川/工藤/河田	新川/工藤/河田	×	新川/工藤/河田	工藤/河田
	14:00~16:00 (14:30~)		非常勤医師	×	新川/工藤/河田	×	
歯科口腔外科	一般(午前)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	
	一般(午後)	13:00~16:00 (13:30~)		×	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	口腔顔面痛外来(紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	非常勤医師(第2・5水曜)	×	

●この時間等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。
●緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。

●予約変更の受付は、下記病院代表番号まで平日の午後2時から4時まで
TEL 020-511-50500(代表表)

●原則として電話による新患の予約受付はいたしておりません。
●地域医療連携室・フリーダイヤル 0120-60-5050